

Progress

食と環境保全人材育成プログラムの現状と展望

2024年10月4日に食と環境保全特別コースになって初めての入学式を行い、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジアの5ヶ国から6名の新入生を迎えることができました。また、2025年4月からは日本人学生2名が本コースへ参加することが内定しており、現時点で16期生は8名体制で実施する予定です。

前回で報告したように、食と環境保全特別コースでは、受入分野を限定せず、農学分野の幅広い学生を受け入れることとなりました。また、博士課程への進学も認めることに変更しました。これらの変更に伴い、本コースのコンソーシアム企業も食品関連企業に限定せず、農学関連分野である化学分野、医薬品分野、農業関連分野企業などへ広げる方針を10月4日に開催した食と環境保全特別コースコンソーシアム会議にお諮りし、お認め頂きました。併せて、これまで賛助企業として貢献していただいた企業様におかれましては、もコンソーシアム企業として、学生のインターンシップの受入、講義科目の分担、私費学生の奨学金のご寄付、就職先の候補として食と環境保全特別コースにご協力頂くことになりました。

今後は、香川大学大学院農学研究科の教授陣の専門性を活かし、より幅広い分野での留学生教育を行います。15期生受入までに培った留学生の日本語教育のノウハウを活かしながら、日本と母国の架け橋となるグローバル人材を育成する方針には変更ありません。皆様方の心温かいご協力を切にお願いいたします。

(川村教授)



News

14期生修了式・16期生入学式



14期生の修了式にて

令和6年9月18日(水)香川大学農学研究科において第14期留学生の修了式が執り行われました。今年は新型コロナウイルスの影響も薄れ、修了生のご家族や就職先などの来賓の方々に本学にお越し頂いての開催となりました。

上田学長より2名の修了生に学位記が授与され、門出のお祝いと温かい激励の言葉が来賓の方々から贈られました。修了生の未来の活躍が大いに期待されます。

令和6年10月4日(金)香川大学農学研究科において第16期留学生6名の入学式が執り行われました。食と環境保全特別コースになって初の新入生たちです。上田学長より歓迎と激励の言葉が述べられ、四国経済産業局地域経済部部長熊野様とコンソーシアム企業の日本ハム株式会社人事部次長田中様からは、ご祝辞を頂きました。慣れない日本式セレモニーに緊張しながらも皆様からのお祝いの言葉に励まされ、それに応えるように新入生代表のヴァーさんからは、しっかりと自分の言葉で新たな出発への決意表明がありました。

これから始まる日本での生活には不安もあると思いますが、日本文化に触れ、有意義な学

(樋口特命教授)



16期生の入学式にて

News

16期生の紹介

今年度はコースが新しくなってから初めての学生受入となりましたが、インドネシアから2名、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナムからそれぞれ1名ずつ計6名の新入生を迎えました。それぞれが香川大学で学ぶことを心待ちにし、渡日前からオンラインでの日本語教育を受け、晴れて10月に入学しました。これからがんばって参りますので、ご支援の程どうぞ宜しくお願いいたします。

- ①フリガナ
- ②氏名
(名字・名前・ミドルネーム)
- ③指導教員 (研究分野)
- ④最終学歴
- ⑤出身国
- ⑥今後の抱負



- ①ムフリ ムハマド ハニフ
- ②MUFLIH Muhammad Hanif
- ③高田悟郎教員 (応用酵素化学)
- ④ハサヌディン大学 農学部
- ⑤インドネシア出身

⑥このコースを通じて、持続可能な食品産業を考慮した食品研究と開発に関する知識を深め、日本語と英語でのコミュニケーション能力を磨きたいと思います。将来は食品の持続可能性や安全性向上に貢献し、自国と日本をつなぐ国際的な架け橋としての役割を果たしたいです。



- ①ユペンスク サフィア
- ②YUPENSUK Safia
- ③佐藤正資教員 (生物活性化学)
- ④アサンプション大学 農学部
- ⑤タイ出身

⑥私の目標は、社会の人々の問題解決に役立つ製品や技術を研究開発することです。また、仕事とプライベートの両面でスキルアップを目指します。卒業後は、得た知識を活かして、日本と母国の発展に貢献し、社会にも価値と利益をもたらすことを目指します。



- ①ヴー マイ ゴック
- ②VU Mai Ngoc
- ③YONEKURA Lina 教員 (食品化学)
- ④ハノイ工科大学 生物・食品技術学部
- ⑤ベトナム出身

⑥香川大学での学びを通じて、専門知識とスキルを向上させ、将来的に社会や食品産業の発展に貢献できるようになりたいと考えています。また、多文化環境での交流を深めながら、日本語力を向上させることも目指しています。



- ①サントソ イェヘズキエル アレン
- ②SANTOSO Yehezkiel Allen
- ③石井統也教員 (食品加工学)
- ④ディポネゴロ大学 農学・畜産学部
- ⑤インドネシア出身

⑥将来、日本文化を学びつつ技術的知識を深め、個人の成長とキャリア開発を追求したいです。この修士課程を通じて、成功に必要な知識やスキルだけでなく、グローバルな視点や実践的な経験を身につけ、日本と世界で貢献できる人材になりたいと思います。



- ①タッチ キーンブンロン
- ②TOUCH Keangbunrong
- ③武藤幸雄教員 (農業経済学)
- ④立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
- ⑤カンボジア出身

⑥香川大学では農政改革について研究しています。修士号と博士号を取得するために、農業経済学についてたくさんの方のことを研究し、指導教員から計量経済学を学び、経験豊富な研究者から農業分野で応用できるその他の関連することを学びたいと思っています。



- ①ソーリビョウ ジョン ブライアン デルンパ
- ②SOURIBIO John Bryan Delumpa
- ③望月進教員 (希少糖遺伝子工学)
- ④アテネオ デ マニラ大学 生命科学部
- ⑤フィリピン出身

⑥将来、私は日本と母国の間に意味のあるつながりを築きたいと思っています。香川大学の食と環境保全特別プログラムは日本で生活するという私の夢を叶えてくれました。卒業後は、より強く、より良い人間になり、日本語がもっと流暢になりたいです。よろしく願います。